

2年 単元名「生きものといっしょに～うみの生きものとなかよし～」(生活科 里海に関する時間7時間)

～海に親しむ～

1 単元設定の理由

本単元は、学習指導要領の内容(7)「動植物の飼育・栽培」に基づいて設定したものである。児童は、自分の育てる動物や植物の成長を楽しみにしながら、日々のかかわりを深めていく。校区の周りには豊かな里海がある。のと海洋ふれあいセンターの「屋外タッチプール」では、九十九湾の生きものを観察したり採集したりと、海の生きものに親しむ環境に恵まれている。そこで、「小木の海」の生きものの継続的な飼育を通して、成長することの嬉しさや素晴らしさを知る。また、生きものが死んでしまったり病気になったりした時の辛さは、児童の成長に大切な経験である。そして、生きもののかかわり方を真剣にふり返り、その生命を守っていた自分の存在に児童自ら気付く機会となる。また、継続的な飼育の過程において「元気でいてほしい」「もっと喜んで欲しい」などという願いから、生きものの育つ場所に目を向け、工夫して飼育を行っていくことのできる教材である。

2 単元目標

身近な生きものを探したり、観察したりしながら継続的に飼育活動を行い、育つ環境・成長・変化の様子に関心をもつとともに、生きものに親しみをもち、生きものにも生命があることに気付くことができるようにする。

3 単元の評価規準

生活科への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分についての 気付き
身近な生きものに関心をもってかかわり、生きものに親しみをもち、大切にしようとしている。	生きものの育つ場所、変化や成長について考え、世話のしかたを工夫したりして、それらを表現することができるようにする。	生きものの世話を通して、その特徴、育つ場所、変化や成長の様子に気付くことができるようにする。

4 単元の指導計画

時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1	海にいる生きものを知る。 ・育てたことのある生きものについて話し合う。 ・知っている海の生きものを話し合う。	・海の生きものの写真や映像を提示する。
2	磯の生きものの採集する。 ・海洋ふれあいセンターの「屋外タッチプール」で、ヤドカリやカニなどを採集する。	・事前に、どのような生きものがいるか、話をしていただく内容の打ち合わせをする。 ・救命胴衣、マリンスーツ着用
3	採集した生きものを観察する。 ・採集した場所を話し合う。 ・採集してきた生きものを観察し、観察カードに記録する。	・採集時の写真を提示し、採集した場所を思い出せるようにする。 ・観察する視点を「観察名人カード」で確認する。

2年 単元名「生きものといっしょに～うみの生きものとなかよし～（生活科 里海に関する時間 11時間）

～海に親しむ～

1 単元設定の理由

本単元は、学習指導要領の内容（7）「動植物の飼育・栽培」に基づいて設定したものである。児童は、自分の育てる動物や植物の成長を楽しみにしながら、日々のかかわりを深めていく。校区の周りには豊かな里海がある。のと海洋ふれあいセンターの「屋外タッチプール」では、九十九湾の生きものを観察したり採集したりと、海の生きものに親しむ環境に恵まれている。そこで、「小木の海」の生きものの継続的な飼育を通して、成長することの嬉しさや素晴らしさを知る。また、生きものが死んでしまったり病気になったりした時の辛さは、児童の成長に大切な経験である。そして、生きもののかかわり方を真剣にふり返り、その生命を守っていた自分の存在に児童自ら気付く機会となる。また、継続的な飼育の過程において「元気でいてほしい」「もっと喜んで欲しい」などという願いから、生きものの育つ場所に目を向け、工夫して飼育を行っていくことのできる教材である。

2 単元目標

身近な生きものを探したり、観察したりしながら継続的に飼育活動を行い、育つ環境・成長・変化の様子に関心をもつとともに、生きものに親しみをもち、生きものにも生命があることに気付くことができるようにする。

3 単元の評価規準

生活科への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分についての 気付き
身近な生きものに関心をもってかかわり、生きものに親しみをもち、大切にしようとしている。	生きものの育つ場所、変化や成長について考え、世話のしかたを工夫したりして、それらを表現することができるようにする。	生きものの世話を通して、その特徴、育つ場所、変化や成長の様子に気付くことができるようにする。

4 単元の指導計画

時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1	育てたい生きものを話し合う。 ・1学期の世話を思い出し、世話する時に大切なことを話し合う。 ・「生きもの大好き発表会」を開くことを知る。	・書き溜めたワークシートや1学期の掲示物を提示する。
2 } 4	生きものを採集し、すみかを作る。 ・海洋ふれあいセンターの屋外タッチプールでウニやヒトデなどの生きものを採集する。	・事前に、どのような生きものがあるかの打ち合わせをする。 ・救命胴衣、マリンスーツの着用
5 } 9	お気に入りポイントを考え、発表する。 ・お気に入りポイントを見つけ、発表する。 ・ゲストティーチャーのお気に入りポイントを聞く。	・前時までには観察する時間をとり、生きものに愛着を持たせる。 ・どんな話をしていただくか、事前に打ち合わせをする。

10. } 11.	生きものの今後を考える。 ・飼育してきた生きものの今後どうするかを話し合う。 ・お別れパーティーをする。	・これまでの活動をふり返るために、 写真を提示する。
外部連携 / 教材等 ・能登里海教育研究所 浦田 慎先生 (GT) ・のと海洋ふれあいセンター 【資料】能登里海教育研究所 『海の観察ガイド』『海の生物』 『海辺のエビ・ヤドカリ・カニハンドブック』		

5 活動の様子



ノコギリウニの観察



大好き発表会



大好き発表会

6 成果・課題

1学期の飼育活動を生かして、すみかやエサを考えることができた。

1年生にお気に入りポイントを紹介するために、相手意識を持って学習することができた。

採集してきた生きものについて、休み時間に図書室でエサやすみかについて自主的に調べたり、土日に家族で海に行ったりする児童が増えた。

天候に左右され、活動が遅れることがあった。

長い間、水槽で飼育していたため、死んでしまう生きものがいた。

7 子どもの反応やミニ感想

- ・1年生に自分の生きもののお気に入りポイントをしょうかいするのがたのしかったです。
- ・1年生がたのしかったと言ってくれてうれしかったです。ゆうがさんが、大きいカニと小さいカニをりょうほうもっていたのがすごいと思いました。わたしは大きいカニはこわくてもてませんでした。1年生といっしょにいきものをさわってよかったです。
- ・アメフラシのアムが、あくびみたいなのをして3cm7mmのびていました。のびのびしてわらってしまいました。
- ・みんなのお気に入りポイントがわかりました。また、ちがう生きものも見てみたいなと思いました。うら田先生にノコギリウニを見せてもらいました。ウニはエサを食べるときに、手でもって食べるとわかりました。もっと生きものを知りたいです。